

# 子宮を残す場合の 子宮筋腫の治療

【聖路加国際病院ロボット手術センター】

# <子宮を残す場合の子宮筋腫の治療選択肢>

## 01 経過観察

- すぐに治療はせず  
経過観察

## 02 手術（子宮筋腫核出術）

- 開腹手術
- 腹腔鏡手術
- ロボット支援手術
- 子宮鏡下手術

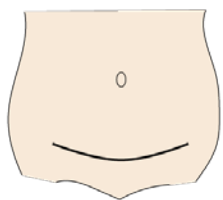
## 03 子宮動脈塞栓術

## 04 薬物療法

# <子宮を残す場合の子宮筋腫の手術方法>

## 01. 開腹手術

従来の標準的な治療です



開腹手術での傷

## 02. 腹腔鏡手術

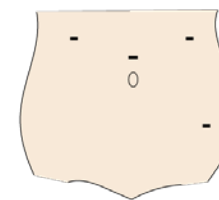
低侵襲※で傷が小さく体への負担が少ないですが、技術的に難しい手術です

## 03. 子宮鏡下手術

ある程度の大きさの粘膜下筋腫のみが適応します

## 04. ロボット支援手術

腹腔鏡手術の良さに加え、傷が小さく痛みが少ない手術です

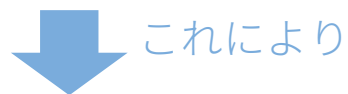


ロボット支援手術での傷

※低侵襲…手術・検査に伴う痛み・出血などをできるだけ少なくすること

# <ロボット支援手術のメリット>

ロボット支援手術は、拡大した3次元ハイビジョン画像で術部が良く見えるため、**より正確で安全な手術が可能**となります



メリット 開腹手術に比べとても  
**01** 小さな傷になり、痛みが  
少ない手術です

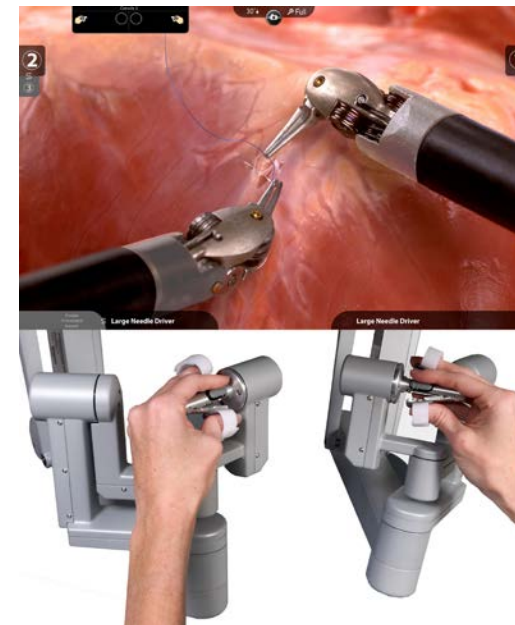
メリット 従来の腹腔鏡手術より  
**02** も、容易で安全な手術  
が可能です

メリット 鉗子の動きの自由度が  
**03** 高く、より開腹手術に  
近い縫合が可能になります

※子宮筋腫核出術では核出部をより早くしっかりと縫合することが重要です。これらについては開腹手術が最も確実に行える手術ですが傷が大きくなり、そのために術後の癒着も多いというデメリットもあります。

# <ロボット支援手術とは>

腹腔鏡手術をさらに発展させた手術方式です。  
高解像度3Dカメラ画像を見ながら、微細な動きを実現できるロボットアームを操り、  
より安全で体への負担が少ない手術を行えます。



# <ロボット子宮筋腫核出術の術後経過例>

入院期間：6日間

1日目	手術前日	入院	
2日目	手術当日	手術	絶飲食
3日目	手術翌日		歩行、食事再開
4日目			
5日目			
6日目	術後4日目	退院	